令和８年度第２回シカ管理検討協議会　会議録

令和８年 10 月 22 日（木）開催

【事　務　局】　１　開会
【事　務　局】　２　あいさつ
【事　務　局】　３　議題
（１）令和７年度シカ管理対策の実施状況について（報告）
（２）令和７年度指定管理鳥獣捕獲等事業評価報告について（協議）
（３）第７次シカ管理計画の素案について（協議）
（４）その他

【事務局】
（資料１～１－３により説明）
【青井会長】
それではただいまの事務局からの説明につきまして、ご質問、ご意見等ありますでしょうか。
【高橋委員】
資料１の農作物被害額の推移について、「飼料作物」には、「牧草」を含むかどうか伺いたい。
【農業振興課】
飼料作物には、牧草を含みます。
【宇野委員】
シイタケ被害の３市町村はどこか。また被害額の詳細についてお聞きしたい。
【事務局】
後ほど、御回答します。

【青井会長】
ありがとうございます。他に何か質問はありますでしょうか。ないようですので、議題「（２）令和７年度指定管理鳥獣捕獲等事業評価報告について」へ移りたいと思います。
【事務局】
（資料２により説明）
【青井会長】
ありがとうございます。計画を上回る捕獲頭数を達成できたとのご報告でしたが、ただいまの報告につきまして、ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。
特に猟友会の皆様には直接関係する課題だったと思いますので、何かコメント等がありましたら併せてお願いいたします。
【高橋委員】

目標を達成したことは喜ばしいことだと思いますが、一方で、シカの生息密度は全体として依然高い状況にあると認識しています。

これについては前回も申し上げましたが、目標捕獲頭数に達したため１月下旬で捕獲を終了したとのことですが、猟友会の体制や余力にもよるものの、捕獲できる時期にはできるだけ捕獲するという考え方が必要ではないかと思います。雪が少ない年にはシカが山から下りてこず、捕獲が難しくなることもあります。そのため、捕獲目標は単に一定頭数を達成することではなく、「○○頭以上を捕獲する」という考え方で設定するのが望ましいのではないでしょうか。

現状では、捕獲し過ぎることを心配する段階にはなく、今後もしばらくは積極的な捕獲を継続していく必要があると考えています。

【事務局】

ただいまいただいたご意見につきましては、ご指摘のとおりと考えております。県としても、捕獲できる時期にはできるだけ捕獲を進めていきたいという考えを持っております。

一方で、昨年度までは財政的な制約もあり、捕獲頭数の上限を今回お示しした数値として設定していたところです。

いただいたご意見を踏まえ、今後の捕獲目標や事業の実施方法については、しっかりと検討してまいりたいと考えております。

【青井会長】

それでは、特にご意見がないようですので、本報告につきましては事務局案のとおりとしてよろしいでしょうか。それでは、事務局案のとおり承認することといたします。

続きまして、協議事項である議題（３）「第７次シカ管理計画（素案）について」に移ります。

【事務局】

（資料３～３-５により説明）

【青井会長】

以上をもちまして本日の議事を終了いたします。ご協力いただき、ありがとうございました。